

課題改善カリキュラム【 国語科 】練馬区立大泉第二中学校・大泉第二小学校・大泉南小学校

課題		研究テーマ		
①書くことで個人差が大きい ②論理立てて書けない ③書き方がわからない		自分の思いや考えを文章で書き表すことができる児童・生徒の育成 ～読むことから書くことへつなげる指導法の工夫・改善について～		
学習期	身に付けさせたい資質・能力	指導の工夫	カリキュラム改善の視点	
中学校	3年	<ul style="list-style-type: none"> 文章を批判的に読み、自分の意見や考えをもつために、新聞記事などを利用する。 説得力のある文章を書くために、考えの根拠をあげメモを作る。 わかりやすい文章を書くために、構成を考え、構成メモの活用をする。 	<ul style="list-style-type: none"> よい文章にふれ、資料の引用など論理の展開を工夫して、説得力のある文章を書かせる。 	
	2年	<ul style="list-style-type: none"> 社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら、自分の考え方をまとめることができる。 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的視野を養うために、新聞等を読ませ、その中から作文に使う記事を選ばせる。 自分の意見を説得力のあるものにするために、自分の体験等から具体例を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事実や意見の記述において、説明や具体例を工夫することで、相手に効果的に伝わる文章を書く努力をさせる。
	1年	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめることができる。 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活にかかわることなどについて書くために、身のまわりのことから生まれる「問い」を手がかりにして、課題を決める。 構成を考えて書くために、カードを活用し、文字数制限の中で書く意識をもち、内容をまとめ書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 入手した情報、自分の考えや意見について、整理したり取捨選択することで、相手に伝わる文章としてまとめさせる。
小学校	6年	<ul style="list-style-type: none"> 考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理することができる。 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 書く事柄を収集するため、図書資料や新聞を活用する。 事柄を整理するために、短冊や付箋、作文カードを活用する。 文章全体の構成の効果を考えるために、モデル文の読み比べやグループでの話し合いをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な題材から関心をもたせ、モデル文を読み比べ活用させることで、自分の考えを明確に表現させる。
	5年			
	4年	<ul style="list-style-type: none"> 関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べることができる。 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 書くために必要な事柄を調べるために、本や辞典の活用、身近な人へのインタビューの話形の提示をする。 段落の役割を理解するために、例文の提示や分析をする。 	<ul style="list-style-type: none"> モデル文を提示し文章構成を分析することで、段落の役割を理解し文章構成する力をつけさせる。
	3年			
	2年			
1年				